

# 治安・安全情報

## (リヨン及びローヌアルプ州)

平成26年(2014年)6月  
在リヨン出張駐在官事務所

### 目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
  - ① 窃盗犯罪事件
  - ② 粗暴犯罪事件
  - ③ 凶悪犯罪事件
  - ④ 知能犯罪事件
  - ⑤ その他の事件
  - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

### 1. 今月の安全・防犯のポイント

#### **強風時の樹木の枝落下に注意**

最近、強い風が吹くことが頻繁にあるが、そんな時は公園などでの散歩にも注意する必要がある。先日、ブロン市にある Essart 公園で親子がベンチに座っていたところ、約25メートル上から直径20センチの折れた枝が落下し、子供は足を骨折した。こういった緑豊かな公園エリアは県職員が定期的に手入れをしているが、強風時には落下物など危険であるため、公園が閉鎖になっていなくても、なるべく木の下に近づかないように注意したほうが無難であろう。

#### **衣料洗剤、子供の家庭内事故に注意**

保健総局は、洗剤・洗浄剤、家庭で使われる医薬品などを保管する場所についての注意喚起を促している。というのは、2010年以来、新型衣料洗剤で、小さなプラスチックに鮮やかな色の液体洗剤一回分が入っていて、一見まるでゼリーや飴などのように思われる洗剤を、小さな子供(大半が5才未満)が間違えて口の中に入れて誤飲したり、潰して目の中に入ったりする事故が急増している。このプラスチックのような梱包材は水溶性のため、唾液で溶けて洗剤が流れ出す。間違っても肺に入ってしまうと喉頭や呼吸器系の症状、目に入ると角膜の損傷などが起こり危険である。皮膚に着いた場合は、すぐに洗い流せば特に後遺症などはでないが、パジャマについていたのをそのまま着せて寝せた1歳半の子供がⅡ度の火傷を負っていたとの報告もされている。このタイプの洗剤は、通常の液体洗剤に比べて濃度が高く危険度が高いとのことで、米国など他の国でも同じような事故が相次いでいるため、メーカーでは今後対策をとる方向になっているらしい。

#### **花粉アレルギー**

Le Réseau National de Surveillance Aérobiologique (R.N.S.A.) 全国空中生物学監視組織では、最近はいネ科の植物 Graminées の花粉アレルギーなどに注意する様呼びかけている。この組織のサイトを参照すると、全国での花粉アレルギー警報が見られる。<http://www.pollens.fr/docs/vigilance.html>

## 2. 邦人の被害事例

6月26日午後1時頃、邦人女性が友人と二人でスイスを鉄道で旅行中、ジュネーヴ付近の駅で一時停車している際に、落とし物を探すふりをして長い間屈んで床を見ていた怪しげな男がいたため、女性とその友人もこの男に気を取られていたところ、その隙に頭上の荷物台においていた二つのリュックを取られてしまったとのこと。周りの人の証言によると、共犯者がいたらしい。

## 3.地区別 治安情報集計結果

### 2014年6月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN県	ISERE県	LOIRE県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦等)										2	1						3
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合等)	2	1			2	2	6	6	4	12		1	4				40
窃盗犯 (侵入班、乗り物盗、車上荒らし、ひったくり等)	5	3	8	2	1	6	12	3	1	11		1	1	1			55
知能犯 (詐欺、横領等)	1	1					2		1		1						6
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑行為等軽犯罪等)		1	2	1	1	1				1	1	3		1	1	1	14
合計	8	6	10	3	4	9	20	9	6	26	3	5	5	2	1	1	118

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions

グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors

グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

#### 4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より抜粋）

##### ① 窃盗犯罪事件

6月1日早朝、Villeurbanne 市 Roger Salengro 通りにあるバーで、グループ犯による空き巣事件が発生した。若者達はガラス窓を足で蹴って中に侵入し、店内にあった現金などを盗んでいったとのこと。その付近で17歳と24歳の若者が容疑者として逮捕されたが、その後目撃者の証言と異なるために釈放された。

6月1日午前6時頃、リヨン市第1区 Comédie 広場で、38歳の女性が数人の若者から暴力をうけ、携帯電話と現金350€を盗まれた。監視カメラの映像があったため、約一時間後にその犯人達が住む Saint Fons 市の自宅に警察が出向き、盗んだ携帯電話を持っていた17歳の少年が逮捕された。

6月2日夕方、先週も窃盗罪で身柄拘束になっていた14歳と15歳の少年2人が、この日リヨン市第6区地下鉄 Foch 駅で17歳の少年に対して殺すと何度も脅迫しながら携帯電話を奪い取って逃亡した。この2人はその後すぐに警察に逮捕された。

6月2日午後4時頃、Villeurbanne 市在住の34歳の男性が、銀行 ATM 機で現金を引き出した後 Anatole-France 通りの自宅のある建物のエレベーターに乗ろうとしていたところ、後を付けてきたと思われる何者かに後ろから殴り掛かれ、財布を奪われた。

6月3日午前0時半ごろ、リヨン市第6区 Vitton 通りのパン屋に3人組みの男達が空き巣に入っているのを見かけた目撃者がすぐに警察に通報し、駆けつけた警察官がそのうちの1人を逮捕した。逃げた共犯者の1人は30件以上の前科をもっているとのことで、取り調べが進んでいる。

6月3日午後7時頃、リヨン市第7区 Lieutenant Colonel Girard 通りに在住の49歳の女性が、同じ建物に在住する近所の家の家政婦だと名乗る女に騙されてアパート内の物を盗まれた。この女は、女性宅のバルコニーに鍵を落としてしまったと言ってアパート内に入り込み、女性の隙を狙ってクレジットカードを盗んでいったとの事。現在調査中。

6月4日に、新しい手口のだまし被害事件があった。Saint-Didier-au-Mont-d'Or 市在住の女性が、Ecully 市のスーパーで買い物し自宅に戻って車から荷物を家の中に運んでいたところ、若い女性が近づき、自分の祖母が飼っているインコが逃げ出してしまったので庭を見せてもらってもよいかと女性に話しかけてきた。おかしいとは思ったが、若い女性もきちんとした身なりをしていたため、一緒に庭にでて話をしている間に、共犯者が家の中に忍び込んで女性の財布を盗み出していった様である。銀行から女性宅に ATM 機で大金の引出しが何度もあったという知らせで女性が気付いた。買い物の際にカードの暗証番号を押すところを犯人達に見られており、その後自宅まであとをつけてきた可能性が高い。偽警官や偽水道局員などの場合には、身分証明書などの提示を求めることも可能だが、こういったケースの場合は難しい。怪しいと思ったらすぐに警察（電話 17）に通報すること。

4月からリヨン市郊外西部地方で、乗馬クラブの空き巣被害が5件連続している。いずれの場合も、真夜中に鍵やドアなどが壊されて侵入されており、乗馬用の道具、高額な鞍など根こそぎもっていかれているとのこと。警察では現在詳細を取り調べている。

6月5日早朝、Vénissieux 市とリヨン市第6区で、メガネ販売店の空き巣事件が連続して発生した。犯人達は同じ窃盗グループと見られているが、覆面をして入り口やショーウィンドウを破壊し、あ

っという間に商品のブランド品サングラスを盗んでいく手口は、6月10日にもアン県 Pont-d'Ain 市のメガネ店が襲われるなどの例と類似しており、全国でこの季節増加しているとのこと。

6月7日午前3時頃、Vénissieux 市 Louis-Armstrong 通りで車上狙いを繰り返していた男が、パトロール中の警察に逮捕された。この男は、盗んだ物品を近くのごみ箱の中に隠していたとのこと、被害に遭った車などの調査がされている。

6月7日午後1時頃、Vaulx-en-Velin 市 Guy-Môquet 広場にあるスーパーLeader Priceに、覆面をした男がいきなり現れた。この男は、レジの女性を拳銃で脅してレジの現金を奪い取ってそのまま走って逃げて行ったとのこと。

6月7日、リヨン市第2区 Delandine 通りで、32歳の女性が16歳の少年にカバンを奪い取られた。女性の証言をもとに警察が容疑者として捕まえた少年を、女性が犯人だと認めたために、この少年は逮捕となったが、この他にも2件の犯罪を自供した。

6月9日早朝、アン県 Beynost 市にある SNCF 国鉄 TGV 路線上の銅線ケーブルが盗まれたために、18本のTGV、合計約8000名の乗客が回り道を余儀なくされるなど被害を被った。この窃盗団は18歳から20歳のリヨン郊外に在住の男達3人組。執行猶予付き1年禁固刑となった。

6月9日、リヨン市第3区 Part-Dieu 駅でスリを働いていた2人のホームレス男が逮捕された。25歳と38歳のこの2人は、若い女性から携帯電話を盗んだばかりで現行犯逮捕だった。

6月9日、Villeurbanne 市 Léon Blum 通りで、車の窓を壊して車上狙い犯罪を重ねていた53歳のホームレスの男が逮捕された。この男は、刃物を2本所持していた。

6月10日、リヨン市第3区 Part-Dieu ショッピングセンターで、数週間前からベビーカーに小さな子供を乗せて数々の店に入り、子供服やアクセサリー、化粧品などを荷物の中に隠して万引きしていた若い女性2人組が逮捕された。家宅捜査では、8000€相当の商品約600点が押収された。

6月10日、リヨン市第3区にある事務所に空き巣に入った男が逮捕された。この30歳のアルジェリア人は、ガラス屋根をつたって逃げようとしたが、ガラスが割れて4メートル下の内部に落ちたためにアラームが作動して逮捕された。

6月10日、リヨン市第7区 l'Artillerie 地区で4人の若者たちが逮捕された。彼らは、住んでいる l'Isle d'Abeau 市で昨年末に発生した空き巣犯罪で盗まれた盗難品のクレジットカードやパスポートなどを所持していた。

6月10日午後、リヨン市第3区 Vivier Merle 通りで59歳の英国人観光客から財布を奪い取った男が逮捕された。

6月11日、リヨン市第7区 Chevreul 通りにある内装建築会社の事務所に侵入しようとして扉をバールでこじ開けようとした21歳から22歳の3人組の男達が逮捕された。

6月12日午前3時頃、リヨン市第3区 Vendôme 通りを歩いていた20歳の男性が、2人組の男に殴られ、暴力的に携帯電話と金のネックレスを奪い取られたが、男性はそのうちの1人を追いかけて捕まえてネックレスなどを取り返し、犯人の27歳の男はその後逮捕された。

6月12日にリヨン市第5区にある個人宅に侵入し空き巣を働いた17歳の若者2人が、逃亡する際に車を鍵ごと盗んでいった。この車をそのまま使用していた2人は、14日マルセイユ市内の交通検問で警察に逮捕された。この2人は前科をもち、マルセイユの裁判所に召喚されている。

6月15日、リヨン市第7区地下鉄 Saxe-Gambetta 駅で、49歳の女性の携帯電話を奪い取っていた13歳と20歳の2人組の若者たちが逮捕された。駅で疑わしい若者達であると警察が目をつけて後をつけたため、この住所不定のルーマニア人は、他にも盗んだ携帯電話を所持していた。

6月16日午前5時頃、リヨン市第1区のアオペラ座から Morand 橋の間の地域で、Plâtre 通りを歩いていた女性を刃物で脅して持ち物を奪い取った若者2人組が逮捕された。この地域では、同様の暴行犯罪が数件報告されている。

6月16日午前6時頃、リヨン市第6区 Sarrail 河岸 Morand 橋辺りで、アメリカ人学生男女4名が、数人グループの若者達に脅されて、携帯電話やパスポート、クレジットカードなどを盗まれた。

6月16日午後6時頃、留守のはずの隣人のアパートから不審な音を聞いたリヨン市第7区 Bancel 通りに在住の女性が、警察に通報したところ、内部を物色していた19歳と34歳の空き巣犯が駆けつけた警察に逮捕された。この男達が連行される際に丁度帰宅してその場に居合わせた住民の話によると、この犯人のうちの1人が顔見知りであり、その1人は、事件の3週間前に住人と一緒にアパートに来ており、この前日にも電話連絡がはいって、留守になることを知っていた上での犯行らしい。

6月18日、リヨン市第3区 Paul Bert 通りで、建物内の郵便箱を壊して中にあった鍵を盗みだし、その鍵でアパートを開けて空き巣に入ろうとしていた13歳から16歳の少年3人組が、駆けつけた警察に現行犯で逮捕された。

6月19日早朝、リヨン市第7区 Jean Baldassini 通りで、車上狙いで車を壊していた43歳のルーマニア国籍男が現行犯で逮捕された。付近に駐車してある数台の車から、カーラジオやUSBキーなどを盗んでいたらしい。

6月21日頃9時頃、リヨン市第6区 Viabert 通りにある老人ホーム内の94歳女性の部屋に49歳の男が忍び込んで、携帯電話の入った女性の手鞆を盗み出した。この男がどうやって老人ホーム内に侵入したかは判っていない。

6月22日、Villeurbanne 市 Puces du canal 蚤の市で、日曜日早朝午前5時頃、プロの骨董屋が車を駐車して準備し始めていると、覆面をした3人の男達に突然囲まれて殴られ、全身に催涙ガスを振り掛けられた。証言によると、1人の男は銃を持っていたとの事だが、この男達は骨董屋の車は開けようとせず、現金の入った上着を奪い取って逃亡した。早朝の骨董屋同士の取引は現金で行われるため、それを知っている者の犯行だと思われる。

6月23日午後6時半頃、リヨン市第4区 Hénon 通りを歩いていた35歳の女性が、16歳から17歳の3人組の少女からカバンを奪い取られそうになった。女性が抵抗したために、少女達は女性を殴って地面に倒し顔などを足で蹴ったりした。この3人はその後 Chazière 通りで逮捕されて身柄拘束となり、後日1人は1年の禁固刑となった。

6月24日午後、リヨン市第2区 Edouard Herriot 通りのバーで、客がカウンターに置いていたカバンを奪い取ってそのまま急いで逃げようとした34歳の女が逮捕された。この女は50件以上の窃盗前科を持つ。

6月24日午前2時半頃、リヨン市第5区 Romain Rolland 河岸通りで、斧や電気棒を持った4人組の少女が歩いていた女性に襲ってなぐりかかり、女性の持っていた携帯電話を奪って逃走した。

6月24日早朝、リヨン市第8区 Monplaisir 通りのレストラン L'Epicerie に、何者かが入口のドアを破壊して侵入し、店内にあった金庫を奪って逃亡した。現在調査中で被害額はわかっていない。

## ② 粗暴犯罪事件

6月2日午前10時頃、Limonest 市と Poleymieux-au Mont-d'Or 市の間にある Mont Verdun 通りを自転車で走っていた Villeurbanne 市在住の女学生が、車に乗っていた何者かにいきなり暴行されたとのこと。詳細は未だはっきりしていないが、偶然道を通った自転車にのった3人組の男性達に救われ、犯人はそのまま車で逃亡したとのこと。女学生は相当なショックをうけていたとことで、証言を集めるために現在この被害者を救った3人組の男性達を探している。この車を見かけた人など、何か心当たりがある場合は電話番号 04 78 92 78 51 に連絡してほしいとの事。付近の市役所では、犯人のモンタージュ写真が公開されている。

6月5日午前2時頃、リヨン市第3区 Gabriel-Péri 河岸で、トラム線路上を反対方向にオートバイに乗って走行していた男が、警察に止められてアルコール度検査を受けたところ陽性で、腹を立てた男が警察官に向かって殴り掛かろうとしたため、この男は身柄拘束となった。

6月8日、Vaulx-en-Velin 市に在住の68歳の男が、未成年わいせつ罪で逮捕された。この男は近隣に住む9歳の少女に痴漢行為を働いたもので、少女の母親が気付いて通報したとのこと。

6月8日早朝、リヨン市第2区 Tilsitt 河岸で駐車した車の中にいた男女2人組が、若者グループに唾を吐きかけられ、水の入ったペットボトルなどを投げつけられた。

6月8日午前4時、リヨン市第5区 Gerson 広場で、酒に酔って交通違反を繰り返していた若者が、交通検問でコントロールしようとした警察官に殴り掛かかり、逃亡しようとした為逮捕された。

6月12日午後11時半頃、リヨン市第6区 Général Sarrail 河岸を歩いていた男女カップルが、興奮して暴力的に刃物を振り回す男に襲われそうになった。女性の悲鳴を聞いたパトロール中の警察がかけつけたために、男は取り押さえられてすぐに病院へ運ばれた。このうつ状態に苦しむ22歳の男は、薬とアルコールを同時に摂取したために幻覚的になっていたと自供しているらしい。

6月12日には Bron 市で交通検問の警察官がコントロールを拒絶する車に引きずられ、また13日にはリヨン市第2区 Tilsitt 河岸で、検問中の警察官がオートバイを運転する男に轢かれた。交通検問に逆らって逃げたオートバイに足をひかれた警官はそのあとすぐに病院へ運ばれた。

6月17日、リヨン市や Vaulx-en-Velin 市などで、サッカーワールドカップの試合のアルジェリアチームサポーター約200名の群集が騒乱し、柵を乗り越えて入場禁止地域に侵入したり、駐車してある車などをたたいたり、警察などに物を投げたり反抗して、4人の未成年を含む8人の若者が逮捕された。22日の対韓国戦の際には、再度アルジェリアチームの勝利を喜ぶ騒動がリヨン郊外で発生し、Vénissieux 市、Vaulx-en-Velin 市、リヨン市第9区 La Duchère 地区などで車やごみ箱の放火事件が発生した。また、リヨンの市内の Guillotière 地区などでも人だかりが道に溢れ出し、ト

ラムやバスなどの通行もままならなくなり、午前0時にはすべての ترام線が停止となった。26日の対ロシア予選最終戦の際には、ローヌ県警など500名の警官が警備にあたり、ヘリコプターや噴水機などが導入されて、リヨン市第3区の Gabriel Péri 広場から Bellecour 広場などの中心地や、郊外で暴動対策がとられたが、結果30台近くの車やごみ箱約80個が炎上し午前3時まで騒動が続いた。7名の警察官が投石などで怪我を負った。30日の決勝トーナメント対ドイツ戦の際も、警察は500名以上の警官を装備、赤外線カメラ搭載のヘリコプターなどを導入し警備にあたり、結果車8台とごみ箱7個の炎上、リヨンの内外で10件ほどの逮捕があったとのこと。

6月18日、リヨン市第5区 Pierre Scize 河岸通りで、83歳と80歳の老夫婦が突然何者かに鉄の棒で殴られて全治10日の怪我を負った。街の監視カメラの映像から、その後第9区でこの男が逮捕されたが、この40歳の男は老夫婦から侮辱の言葉を受けたために仕返しをしたと自供した。

6月20日午前3時頃、Bron 市在住の79歳の男性宅に覆面をして銃をもった3人組の男達が侵入し、男性を縛って痛めつけた。ショック状態の男性からの通報で警察が駆けつけたところ、男性は大怪我ではなかったが打撲傷がいくつもあり、家の中はすべてひっくり返してあった。貴重品など何を盗まれたかは、はっきりわかっていない。

6月21日午後6時半頃、リヨン市第7区 Debourg 地下鉄駅構内で少女を殴りつけた17歳の少年を交通警察が捕まえたところ、それに腹を立てて警察を侮辱して反抗し、少年は身柄拘束となった。

6月23日午後8時近く、Vénissieux 市 19 mars 1962 通りで、同じ家族の14歳から19歳の4人姉妹と、22歳から50歳の3人の女性達が激しい喧嘩をはじめた。近所付き合い上の揉め事が原因らしいが、22歳の女性は腕を刃物で切られたため、カッターをもっていた4人姉妹が身柄拘束となった。

6月24日午後3時半頃、Vaulx-en-Velin 市 Jean-Vilar 小学校で、10歳の少年が外部にいた20歳代の男に暴力的に殴られて、目の周りが打撲傷ではれ上がり、上顎を骨折していたために手術を受けることとなった。この日のこの時間、放課時間で子供たちは中庭でサッカーをしていたところ、ボールが外の道路に出してしまったために、子供たちが道路にいた4人組の若者達に投げ返すように頼んだらしい。教師が子供達に道路側から離れるように言ったが、何か言い争いがあったようで、若者の1人が突然壁の柵を乗り越えて中に侵入し、教師を押し倒してこの子供に近づき、侮辱した後殴る蹴るの暴行をしたとのこと。教師が間にはいり、この男は逃亡したとのこと。

### ③ 凶悪犯罪事件

6月16日、Villeurbanne 市の警察に、自分の娘が危険な状態なので救助に行ってほしいと言うマルティニーク島在住の母からの通報が入り、警察が Jean Bourgey 通りの娘の自宅に駆けつけた。応答が無かったために警察が屋内に踏み込むと、寝室に男女が2人血まみれになって倒れていた。救急車で2人は病院に運ばれ一命を取り留めたが、その後の調べで、男女の間で諍いとなったために男が女性の喉に刃物を刺し、その後男は自分自身の胸にも刃物を刺して倒れていたとの事で、男は殺人未遂で身柄拘束となっている。

6月18日、ローヌ県 Anse 市のソーヌ河とアゼルグ川の合流地点ので、男性の遺体が木の枝などに引っかかっているのが発見された。この男性は手が縛られていたが、他に打撲などが見当たらないため、自殺の可能性もありえるとのこと。

6月18日、Villeurbanne 市内の Tonkin 私立病院で15日に知的障害を持つ34歳の女性患者に対しての強姦未遂の容疑で、アフガニスタン出身の救急医が逮捕された。強い腹痛のために救急病

棟を訪れた女性を診察したこの医者は、女性の知的障害を見抜けずに、誘われたと勘違いしたと供述しているとのこと。

6月23日正午近く、Fleurieu sur Saône 市内の Agip ガソリンスタンドに強盗が入った。顔を隠した男1人が銃を持って従業員を脅し、レジの現金を持って逃亡したとのこと。警察では目撃者を捜している。

#### ④ 知能犯罪事件

6月25日、リヨン市内の宝石店で6000€の腕時計を購入しようとしていた28歳の男が、カード詐欺罪で逮捕された。数か月前からリヨン市内の高級ブティックで、アメリカンエクスプレスのクレジットカードを使って数人の若者達がい物をし、その被害届が増加していたために、警察が調査してこの詐欺グループの犯人達の身元をつきとめて逮捕となった。21歳と26歳の共犯者とともに、このグループは偽の身分証明書や給与明細をもってアメックスカードを作り、このカードで購入した高級品をネットなどで販売していた。被害総額は約60000€に及ぶとのこと。

#### ⑤ その他

6月3日、イゼール県 Grenoble 市で、ジハード主義者でテロのためにシリアへ送り込むフランス人の若者を徴集していた28歳のチュニジア人が逮捕され、国外追放になった。サラフィー主義のこの男は、すでにチュニジア国内でも服役歴があり、テロ要員を養成してシリアに送り込んだ疑惑がある。2月にはグルノーブル在住の23歳の若者がシリアで銃弾をうけて死亡し、また、家出をしていたグルノーブル在住の14歳の少女が、テロ集団に加わるためにトルコへ出発しようとしていたところを、リヨンの空港で警察に止められたりした事件も起きている。

6月3日、アン県 Gex 地方で、1年前から警察が捜査をしてきた国際的ヘロイン麻薬組織が、一斉捜査により摘発された。アン県やオート・サヴォア県、ローヌ県に広がって在住する組織の関係者8名が逮捕され、ヘロインや現金などが没収された。

6月10日、Bourgoin-Jailleu 市で行われた交通検問で、ウィンカーを付けていなかったために止められた男は、実は運転免許証も取得したことがなく、大麻樹脂と銃弾22個の装填された銃を所持していた。刑務所からでてきたばかりで自分の身を守るためにコルトアナコンダという回転式拳銃を所持していると自供した36歳の男は、前科も14件あり、今回の逮捕で再び禁固2年の有罪となった。

6月15日午後3時半頃、Villeurbanne 市の Charpennes 地区と Tonkin 地区の間のトラム車線で、警察に追われて逃亡していたスクーターが、2車線のトラムの間をすり抜けようとして挟まり、スクーターの男は軽傷、トラムは夕方5時15分まで完全に止まってしまった。このスクーターに乗っていた男は監視電子ブレスレットをつけている20歳の男で、スクーターが盗難車で警察が追跡したために、逃げようとしたらしい。

6月16日、リヨン市郊外南東の Sérézín 市や Corbas 市、Solaize 市やリヨン市第7区などで、大麻樹脂やコカインの密売に関わっていた28歳から52歳の6人の男達が逮捕された。4月に捜査が始まって今回約50名の警察官が大規模捜査で家宅調査などを行い、合計大麻樹脂1kgとコカイン50g、そして現金15000€や大型高級自動車などを没収した。この男達は、それぞれ会社員や職人、営業職、失業者もおり、どこにでもいるような普通の人々が密売網に関係していたらしい。

6月21日午後5時近く、20歳代の男性2人がリヨン市第6区 Winston-Churchill 橋からローヌ河に飛び込んだ。その内の一人はすぐに水面に上がったが、もう1人の若者がそのまま姿を消した



ために、潜水士などがすぐに捜査をはじめたが、結局午後9時頃に、飛び込んだ場所から70m下ったところで若者の死体が見つかった。天候も良く、2人は賭けをして飛び込んだとのこと。

6月23日、リヨン市第6区 Brotteaux 駅で、乗客を待っていた自家用車タクシーの運転手が逮捕された。この男はネット上で、UberPop をという自家用車タクシー斡旋会社の運転手として登録し、母親の車を運転して客を待っていた。このサイトは車の相乗りシステムで個人が運転手として登録し、客は料金をネット上のサイトに支払って予約し利用、運転手は毎月末に手数料20%を除いた料金を受け取るという仕組みになっている。この男は実は運転免許証をまだもっていなかったために逮捕されたが、サイト上に登録した時には、イギリスでの運転研修証明書のコピーだけで登録できたと供述している。

## ⑥ テロなどに関する一般治安情報

特になし

## 5. 今月の出来事

### ストが連続

今月は、SNCF国鉄の大型ストが2週間近くの長期に渡って続き、全国の利用者がその被害を被って影響を受けた。特に、バカロレア試験の時期にあたったため、試験に向かう高校生のためには特別措置が敷かれた。またリヨン・サンテクジュリ空港でも管制官のストが6月末にストをし、何便もキャンセルとなり、TCLリヨン市交通のトラムなどでもストがおこなわれた。

### 2014-2015年度 幼稚園・小学校の時間割変更決定。

リヨンの学校協議会は、リヨン市側が提案した時間割をぎりぎりの多数決で採択した。9月からは、月・火・木曜日は以前と変わらず、授業時間は8H30-11H30と13H30-16H30だが、水曜日と金曜日は午前8H30-11H30の授業で、金曜日の午後3時間の課外授業（アクティビー）が行われる予定とのこと。私立の学校やリヨン市以外の都市または町ではプログラムが異なるので、夏休み前に学校側に詳しく問い合わせることが必要。

### 子供の誘拐未遂事件がサヴォア県で連続

5月に2回 Albertville 市や付近70km圏内の街で、そして6月4日に Bourg-Saint-Maurice 市で、連続して子供の誘拐未遂事件が起きている。その手口（車に乗ったらプレゼントをあげると誘う）や犯人の乗っている車（スモークガラスの黒い車）など子供たちの証言が似通っているために、同一犯人の可能性が高いと見られ、サヴォア県の憲兵隊グループが Tarentaise 地方の広域に渡ってヘリコプターや地上での捜査網が直ちに敷かれたが、犯人は見つからなかった。モニタージュ写真などが公開される予定だが、Bourg-Saint-Maurice 市などの街の住民の間では不安が広がっている。

### 小学校でノミが繁殖

Vaulx-en-Velin 市の Martin Luther-King 小学校内でノミが繁殖し、子供達や教師なども刺されている上に、洋服やカバンについて自宅まで持ち込むケースが発生し、学校側では半日学校を閉鎖して、駆除のために除虫剤を散布することとした。

### 銅線の盗難、相変わらず続く

SNCF 国鉄の銅線盗難が一時期騒がれたが、最近では街中や高速道路の街灯電線や、通常の電線を切って盗難していく新しい手口が、ローヌ県内で見られ始めている。今月末、リヨン空港の近くで、電気ケーブルのプラスチック部分をカッターで切り取り、証拠隠滅のために燃やしていたルーマニア国籍の3人の若者が逮捕された。彼らは200kg近い銅を所持していたとの事。